

つらい更年期症状に、直球型サプリメント

イソフラボンからでは実は2人に1人が産生できなかった
女性ホルモン様成分
『**エクオール**』が直接摂取可能に。

2013年12月2日 サプリメント新発売



アドバンス・メディカル・ケア
エクオール+ラクトビオン酸
90カプセル入り(1日3カプセル/30日分)
6,300円(税込)

かつては人生の終盤と位置付けられていた更年期(閉経前後10年間)も、長寿命となった現代ではまだまだ折り返し地点。閉経後の人生が有史以来最も長くなり、女性ホルモン量低下による骨減少症、骨粗しょう症の増加等、成熟女性の健康管理にはこれまでとは異なる対策が求められてきています。

また、女性の社会進出やストレス社会を背景に、更年期症状の重症化も見られています。更年期世代は、社会においては管理職の立場であるケースが多く、また、家庭においても育児と介護が重なるなど、更年期ケアはますます重要となっています。(更年期と加齢のヘルスケア学会、NPO法人女性の健康とメノポーズ協会より)

そんな中、東京ミッドタウンクリニックを運営する株式会社アドバンス・メディカル・ケア(本社:東京都港区代表取締役社長:古川哲也)は、グループ内の浜松町ハマサイトクリニックの院長、吉形玲美医師の監修により、これまでにない新しい更年期対策サプリメントを開発いたしました。従来より、植物性女性ホルモンとして大豆イソフラボンがよく知られていますが、実は必要な腸内細菌を持つ方であればイソフラボンから女性ホルモン様成分を産生することができないということが明らかとなっています。そこで従来のサプリメントとは一線を画す、新世代の更年期対策サプリメントを2013年12月2日に発売させていただきました。

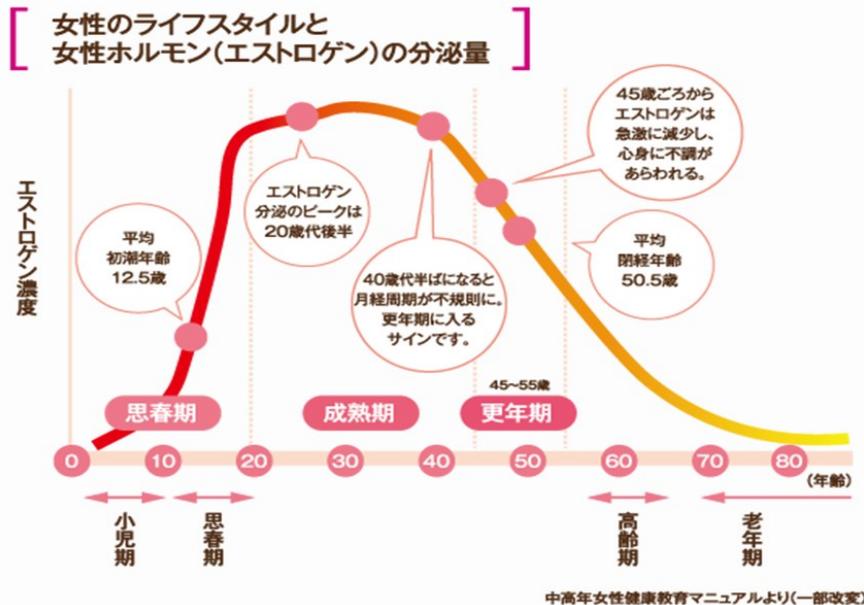
本リリースに関するお問い合わせ先:

株式会社アドバンス・メディカル・ケア 広報室 森内/那須 Tel:03-6890-0015

更年期障害とは

女性の身体は40歳を過ぎたところから卵巣機能が徐々に衰え、やがて閉経を迎えます。この閉経をはさんだ前後10年を「更年期」といいます。多くの方は、50歳前後で閉経を迎えることから、おおむね45歳～55歳が更年期にあたります。

この時期になると、卵巣から分泌される女性ホルモンの一つであるエストロゲンが減少し、体の中のホルモンバランスが乱れます。ホルモンバランスが乱れると自律神経の調節が乱れて、ほてり・のぼせ・冷えなど、体にさまざまな不調が現れます。その症状は実に様々で、100種類に及ぶともいわれています。このような、ホルモンバランスの乱れによっておこる不調を「更年期症状」といい、それにより日常生活に支障がでるようになった症状を「更年期障害」といいます。9割の女性が何らかの不快症状を感じ、そのうち2～3割が更年期症状をおこします。更年期障害の1つ、更年期うつによる自殺も深刻化しています。



更年期対策の現状

①ホルモン補充療法(HRT) ←長期投与による乳がんリスク

女性ホルモン量減少に伴う不定愁訴や更年期障害の治療に一般的に行われているのはホルモン療法(HRT)。ただし、乳がんリスクを考慮するとHRT投与期間は5年以内が望ましいとされています。また、体質的な問題や心理的な抵抗感から、つらい更年期に悩まされながらもHRTができない患者様もいらっしゃいます。

②イソフラボン系サプリメント ←実は2人に1人は必要な腸内細菌を持たず

女性ホルモン様作用があるということでも有名なのが「大豆イソフラボン」。近年の研究で、この作用をもたらしているのは、大豆を食べたときに腸内で代謝される「エクオール」という成分であることが解明されました。

市場ではイソフラボンを主成分としたサプリメントが更年期対策商品として流通されていますが、実は残念ながら、日本人の2人に1人、欧米人では3人に2人が、イソフラボンから女性ホルモン様成分「エクオール」を産生するために必要な腸内細菌を持っていません。これらの方にはイソフラボンの摂取が更年期対策として機能していないというのが現状。しかも、エクオールを産生できない人は、更年期障害の症状が重い傾向にあることもわかっています。さらに、近年日本人の豆類摂取は減少しており、エクオール産生者も十分な恩恵を受けられていない状況も危惧されます。そんな中、更年期対策サプリメントには進化が求められています。

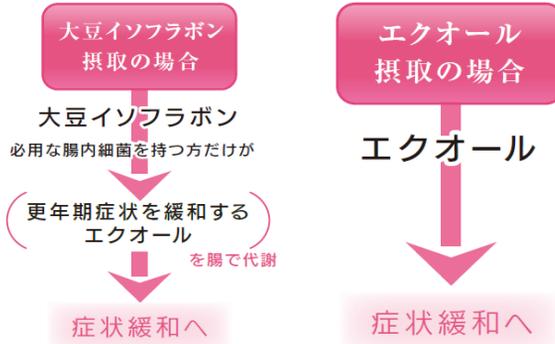
産生酵素を持たない1/2の女性にも有効に

女性ホルモン様成分「エクオール」を直接 補う新世代の更年期対策サプリメントを発売

株式会社アドバンス・メディカル・ケアは、グループ内の浜松町ハマサイトクリニックの院長、吉形玲美医師の監修により、これまでにない新しい更年期対策サプリメント、「エクオール+ラクトビオン酸」を開発いたしました。2013年12月2日に登場。更年期からの健康サポートに、新しい提案です。

●女性ホルモン様成分「エクオール」そのものを サプリメントに。

大豆イソフラボンをエクオールに代謝できない方にも、大豆製品をあまり摂らない方にも。新世代の更年期対策サプリメントです。大豆由来の安心の食材。ホルモン療法は敷居が高いとお感じの方にも更年期対策を行っていただけます。



アドバンス・メディカル・ケア
エクオール+ラクトビオン酸
90カプセル入り(1日3カプセル/30日分)
6,300円(税込)

●ラクトビオン酸配合で、更年期世代の健康をトータルにケア

成熟女性の健康のために必要なのは、更年期症状の対策だけではありません。そこで、エクオールに加え、ラクトビオン酸も配合したサプリメントを開発しました。難消化性オリゴ糖としての整腸作用に加え、カルシウムの吸収を高める作用があり、骨粗しょう症の予防効果が期待されます。また、エクオール産生促進による女性ホルモン様作用の強化も期待されています。エクオールとラクトビオン酸を共に補うことで、成熟女性の輝きをトータルにサポートするサプリメントが誕生しました。

●吉形玲美 婦人科医師が監修。

更年期医療の様々な臨床研究に携わる、東京ミッドタウンクリニックグループ、浜松町ハマサイトクリニックの院長、吉形玲美医師が監修。更年期症状に苦しむ女性たちに、長期継続によるリスクのあるホルモン療法の代替として、効果を実感できるサプリメントという思いで開発されました。

**浜松町ハマサイトクリニックは
エクオール検査の日本初実施機関。**

体内でエクオール産生を行える体質かどうかを
簡単な尿検査で確認することができます。

料金： 4,725円

浜松町ハマサイトクリニック 03-5472-1100 (平日9:00-18:00)



●モニターテストでも喜びの声。

1カ月摂取して以前より感情の起伏が安定したように思います。気力も前よりも出てきて外出も面倒でなくなりました。仕事のストレスにも以前より少し対処できるようになったと思います。

(40代女性)

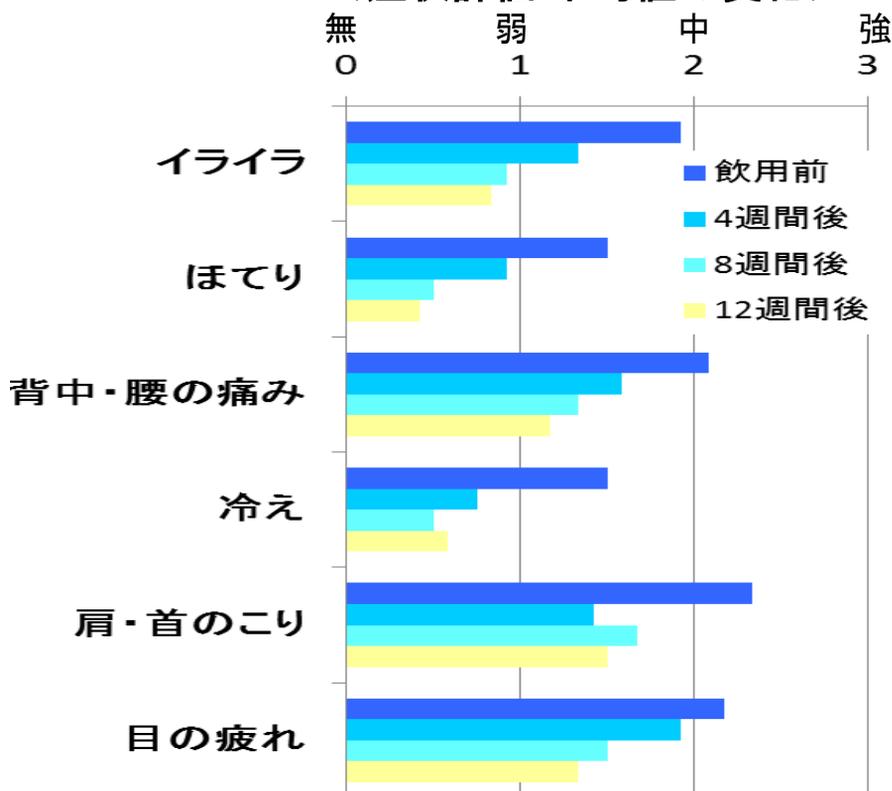
以前はひどかった肩こりがだいぶ楽になり、イライラも自分でコントロールできるようになりました。今まで、身体が暑く感じるというよりも、動いても体が冷えたままでしたが、最近では動くとも体が温かくなり代謝がよくなったと感じ嬉しいです。偏頭痛も減りました。

(50代女性)

3日目から体調がとてもよくなり、気持ちが前向きになって嬉しい。知人から肌がきれいになったと言われました。自分のことに気を使えるようになり、髪を染めたりマニキュアを塗ったりしました。

(50代女性)

<症状評価 平均値の変化>



1日あたりエクオール10mg摂取による変化 / N=12 / 協力医療機関：浜松町ハマサイトクリニック

成熟女性がもっともっと輝くために。
「アドバンスト・メディカル・ケア エクオール+ラクトビオン酸」は、そんな思いで開発された、
次世代の更年期対策サプリメントです。

■吉形玲美医師(開発医)

吉形玲美(よしかたれみ)／婦人科医師(医学博士)

東京都出身・1997年東京女子医科大学医学部卒業。
同大学産婦人科の臨床の現場で婦人科腫瘍手術をはじめ、産婦人科一般診療を手掛ける傍ら、女性医療・更年期医療の様々な臨床研究に携わる。東京女子医科大学准講師を経て2010年より同大学非常勤講師。同年7月より、東京ミッドタウンクリニックグループである浜松町ハマサイトクリニックの院長に就任。専門は女性医療(更年期医療)。日々の診療や学会活動などを通じて新しい女性のトータルヘルスケアについて発信を続けている。

- ・資格 医学博士、日本産婦人科学会専門医、臨床研修指導医、日本女性医学学会(旧更年期医学会)代議員・認定医、日本産婦人科栄養代謝研究会幹事
- ・所属学会 日本産婦人科学会、日本女性医学学会(旧更年期医学会)、日本抗加齢医学会、日本骨代謝学会、日本骨粗鬆症学会、日本女性心身医学会、など
- ・書籍 「パートナーと考える出産 妊活バイブル」(2012)

参考：<http://www.hamasite-clinic.jp/remi/1351/>



■株式会社アドバンスト・メディカル・ケア

(東京ミッドタウンメディカルセンターの運営会社)

- 所在地 〒107-6206 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー6F
- 設立 平成18年2月14日
- 代表者 代表取締役社長 古川 哲也
- 資本金 100,000,000円
- 業務内容 医療、健康診断事業に対するコンサルティング
医療施設経営に関するサポート
医療従事者及び医療補助者の教育及び研修
エステティックサロン・スパの経営
医薬部外品、化粧品の輸入・製造ならびに販売
一般労働者派遣事業(許可番号:一般13-302509)
有料職業紹介事業(許可番号:13-ユ-302081)
- URL <http://www.amcare.co.jp/>



■東京ミッドタウンメディカルセンター (東京ミッドタウンクリニック)

東京ミッドタウン(東京港区六本木)の6階に位置する総合医療施設「東京ミッドタウンメディカルセンター」。2007年3月にオープンし、約1,000坪のフロアには、東京ミッドタウンクリニックや健診・ドックセンター、皮膚科形成外科クリニックNoage(ノアーヂュ)、デンタルクリニック、先端医療研究所、ヘルスケアショップを併設。一般外来診療からがんの免疫治療、メタボリックシンドローム対策などの先端予防医療や美容医療・審美歯科などのアンチエイジングメニューまで、幅広い医療サービスをご提供しています。

「U.S. News&World Report」誌が公表する「全米ホスピタルランキング」で21年連続1位を獲得しているアメリカ最高峰の医療機関、「ジョンズ・ホプキンス」大学病院と日本初、唯一の業務提携を行っており、世界基準の医療、ホスピタリティを目指しています。

【所在地】〒107-6206

東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー6F

【URL】 <http://www.tokyomidtown-mc.jp>



■浜松町ハマサイトクリニック

更年期症状、妊活など、各ライフステージで変化する女性の身体やニーズに合わせてセレクトした「女性のための世代別健診」をご提案し、健診結果に応じて健康管理のアドバイスを行うなど、生涯にわたる女性の健康管理を推進しています。日本で初めて「エクオール検査」を導入するなど、最新の女性医療、予防医療をお届けします。女性のお客様には女性の医師や医療従事者が対応させていただき、安心して診察をお受けいただける環境作りを心がけています。

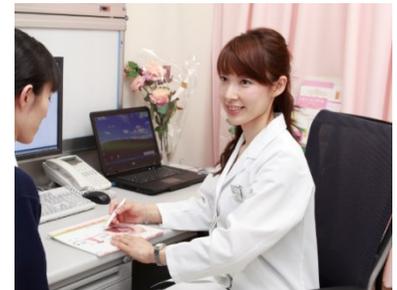
外来では婦人科以外にも内科、整形外科の各科一般診療に加え、それぞれの相互連携をとった生活習慣病や骨粗鬆症の管理・治療、禁煙外来、季節性疾患(インフルエンザワクチン、花粉症治療など)の対応など、幅広い診療を実施。充実した検査機器・設備を備え、健診・ドックなどの予防医療の充実化を図っております。

【所在地】〒105-0022

東京都港区海岸1-2-20 汐留ビルディング2F

【電話】 03-5472-1100 (平日9:00-18:00)

【URL】 <http://www.hamasite-clinic.jp/>



■ヘルスケアショップTMMC Plus

2007年3月に、東京ミッドタウンメディカルセンター内にオープンしたメディカルヘルスケアショップ。

東京ミッドタウンクリニックの医師が監修したサプリメントや、皮膚科専門医が開発したメディカル化粧品などを取り揃えています。ショップには管理栄養士、ヘルスケアアドバイザーが常駐し、健康・美容・ダイエットなど、お客様のお悩みに応じた無料カウンセリングを実施。ミッドタウンメディカルセンターの医師・薬剤師と連携して、お客様の健康をサポートします。



お問い合わせ先:

株式会社アドバンスト・メディカル・ケア 広報室 森内/那須 Tel:03-6890-0015